

一般社団法人全関西大学女子バスケットボール連盟
2026 年度 総会（定時） 会議録

1. 日 時 : 2026 年 6 月 14 日（日）18:00～
2. 場 所 : RACTAB ドーム 大会議室（対面形式）
3. 出席社員数 代議員総数 41 名中、出席代議員 40 名
（会場出席 14 名、委任状 26 名）
4. 出席理事: 野老 稔、三島隆章、荒木初広、坂井和明、西川幸穂、古本ルミ、
佐藤亜紀子、畑岸邦枝、房本浩希、今西正泰、山中博史、村上なおみ、石橋將広
玉井里英、白井 徹、長渡由子、市谷浩一郎
5. 出席監事: 宮武庸介、山本 孝

代議員が 41 名のうち出席代議員 14 名、委任状提出者 26 名であり、定款所定の定足数を満たしたため本総会は成立していることが古本総務部長より報告された。あわせて、代議員以外の監事および理事・専門員の出席についても報告が行われた。続いて、野老会長より挨拶があり、同会長を議長として議事が開始された。

I. 報告事項（その 1）

1. 代議員の選出状況について

野村総務部学生より、定款に基づき各大学から選出された代議員について資料を用いて報告された。

II. 決議事項

1. 2025 年度の事業報告、決算及び監査報告について

高野学生委員長より事業報告について、説明があり、魚住財務部学生より決算報告、宮武監事より監査報告が行われ、いずれも書面通り適正である旨が報告された。

大阪国際大学東代議員より、資料⑤33 ページにおけるコンマ表記について指摘があった。

荒木副会長より、280 万円の黒字を踏まえ、学生への補助金等の検討する旨の意見が述べられ日当等の補填についても検討の必要性を示された。

西川運営管理本部長より、今年度 280 万円の収益にはそれぞれ意味があり、学生の運営体制にも関わるため、税務面を含めた検討が必要である旨の意見が述べられた。

特段の意義なく、会場出席、書面出席、および委任状出席の全員が賛成し、本議案は全会一致で承認決議された。

Ⅲ. 報告事項（その 2）

1. 2026 年度の事業方針と予算について

高野学生員長より、資料に基づき、定款第 4 条に沿って昨年度同様の方針で、計画・立案を行っている旨の説明があった。続いて、魚住財務部学生より 2026 年度の予算について報告が行われた。特段の意見なく了承された。

2. 50 周年記念事業に向けた取り組みについて

坂井専務理事より、2030 年に実施予定の創立 50 周年記念事業について資料に基づき説明が行われた。

荒木副会長から、記念事業の一環として、記念誌の発行に向けて準備を進めていることが報告された。事業報告の資料のようなまとまった冊子が存在しなかったため、情報収集に苦慮していること状況が述べられた。インカレ記録についても整理していきたい旨の意見があった。

3. 2026 年度役員について

古本総務部長より、資料を基に、昨年度と同様の理事役員体制である旨の報告が行われた。あわせて、新たに専門委員を 3 名追加したことが報告された。

4. 2026 年度スローガン制定について

坂井専務理事より、資料に基づき 2026 年度のスローガン制定について説明があり、同年度の大会で表彰されたこと、またリーグ戦等も取り組みを継続していく方針であることが報告された。あわせて、TO 等の態度についても見直しが必要である旨の意見が述べられた。野老会長からは、大会ごとに設定されるスローガン賞についてチームごとのイメージ等が質問された。これに対して、園田学園大学畑岸代議員より、一つの目標となり、自分たちのあるべき姿を示す役割を果たしていると意見が述べられた。

大阪産業大学玉井代議員からは、言語化されることで、言葉とイメージの一致がしやすくなり、学生指導にも活用できていると意見があった。

最後に野老会長より、スローガン賞の選出方法についても今後要検討をする必要があると述べられた。

Ⅳ. その他

・今後の予定、ほか

最後に三島副会長より、閉会の挨拶があった。続いて、古本総務部長より、今後の予定について説明があり、総会の閉会が宣言された。

（以上）